

プロジェクトにおける品質管理計画の立て方【オンラインライブ】 (4124255)

プロジェクト目的と品質管理計画の関係について説明を行いながら、品質管理計画に必要な要素と考え方について説明します。さらに、品質管理計画書の構成と勘所・ポイントについて演習を交えながら説明します。

講師日時	2025年3月4日(水) 9:00-17:00ライブ配信
カテゴリー	IT研修実行マネジメント・プロジェクトマネジメント
講師	木村利樹
概要	株式会社日本研究開発、プロジェクトマネジメント・品質管理部 1986年より、主に新規事業開拓へ参入し、既存として多くのシステム開発を担当。1994年からは、プロジェクトマネジメントとしてプロジェクトを総括。2002年から担当事業部内のプロジェクト全体を管理するPMOとしてプロジェクトへの指導を行なう。社外活動としては各企業での講演や講話の取材対応なども行ってきている。現在は、社内外のプロジェクトマネジメント開発の活動を行なう。研修講師として社内サイトへの連携記事掲載などを。これまでの実体験のノウハウを伝授に努めている。
料金	JPY 11,000円(+税) 25,200円+税 45,180円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【支拂権利枚数枚】
会員登録	会員登録
会員登録	会員登録
対象	プロジェクト管理における品質管理計画の作成時の観点と留意点を学びたい方
開催地	オンライン
定員	25名
項目ポイント	※IT実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間) (ポイント)
ITC認定講師	7

主な内容

■受講形態

ライブ配信 (Zoomミーティング) [\[セミナーのオンライン受講について\]](#)

■テキスト

開催7日前を目途にマイページ掲載

■開催日までの課題事項

特になし

プロジェクトにおける品質管理計画の立て方～品質目標の策定と品質管理計画書のあり方

(講師の言葉)

プロジェクトは「唯一無二」という特性を持っています。そのため、プロジェクト管理計画書は、プロジェクト目的などの特性を考えて整備していくことが必要です。それは品質管理計画書においても同様です。しかし、品質管理計画書は、過去のプロジェクトの実績を参考にして作成されたり、企業・組織における規則やテンプレートなどを参考にして作成されるケースが目立ちます。そのようなやり方だけで作成した品質管理計画書は、重要視点が見逃されたり、形式的な品質評価・確認を行ってしまうことにつながりかねません。また、ソフトウェアの品質というと、すぐに「ソフトウェアに欠陥（バグ）がないこと」と考えるケースも目立ちます。それは確かに重要な一面ですが、良い品質のソフトウェアは「欠陥を取り除くこと」だけで実現できるものではありません。それ以外の要素で品質を見ていくことが必要になります。

本セミナーでは、プロジェクト目的と品質管理計画の関係について説明を行いながら、品質管理計画に必要な要素と考え方について説明していきます。さらに、品質管理計画書の構成とポイントについて演習を交えながら説明していきます。

<<参加者の声>>

- ・品質計画書を作成する際の肝となる部分の説明が聞けた（情報システム）
- ・計画書のサンプルや具体例を交えての説明だったため参考になった（情報システム業）
- ・自分の業務にあてはめながら、現状の品質に対する考え方の整理ができた（情報システム業）

研修目的

- ・プロジェクト管理計画における「品質管理計画」の位置づけについての理解を深める。
- ・「品質管理計画」の内容を充実させるための考えを理解する。

研修内容

- 1 プロジェクト目的と品質目標のあり方
- ・プロジェクト目的とプロジェクト管理計画の関連
- ・品質目標とは
- ・プロジェクト目的を品質管理計画へ反映していく考え方
- 2 品質管理計画の作成の考え方
 - ・品質管理計画を検討するプロセス
 - ・品質管理計画において考慮する観点
 - ・フィードバック（プロセス品質評価）の重要性
- 3 品質管理計画の要素
 - ・計画時に定義する事項
 - ・プログラム品質計画の要素

- ・プロダクト品質計画の要素

- ・テスト計画の考え方

4 品質管理計画作成の勘所（演習）

- ・プロジェクト目的および特性から、品質目標とすべき観点を考える

- ・品質目標を達成するために必要な要素（WBS、プロセス）を考える